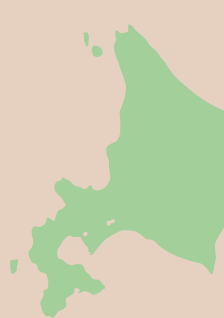


北海道ミロク会計人会だより



悠久の大地

第48号

発行者：北海道ミロク会計人会

発行責任者：中村 泰道

編集責任者：広報委員会 委員長 秋元 務

発行日：令和8年9月25日



主な記事

会長ご挨拶	2	委員会報告	6
第51回定期総会報告	3	理事就任のご挨拶	7
定期総会帯広大会 御礼並びに退任ご挨拶	4	今年度 全国統一研修会 開催地特集	
第51回定期総会に参加して	4	名古屋―モノづくりと“なごやめし”が息づく中部の拠点都市	8
地域交流会に参加して	5	セキュリティ対策評価制度 (SCS) 勉強会 開催報告	10
懇親ゴルフ大会に参加して	5	MJS 札幌支社 社員紹介～2026～	11

表紙写真

今回は「北海道最西端」をご案内します。せたな町大成区にある「尾花岬」が北海道本土の最西端ですが、知名度は今一つですよ。それもそのはず、アクセスする道路が無く、観光客が歩いて到達するのは不可能な岬なのです。というわけで、今回は、尾花岬の南側の「太田集落」からの写真で「到達したこと」にしてください。

札幌地区会 秋元 務



会長ご挨拶

北海道ミロク会計人会

会長 中村 泰 道

第51回の定期総会は、2026年7月24日、帯広の地において盛会裡に終えることができました。

関係各位のご協力に心より御礼申し上げます。

下記①②は、私の会長就任時から、北海道ミロク会計会における活動方針の大きな2つの柱として掲げているものです。

今後もこの2つの柱を軸に、皆様にとって「入ってよかった」会計人会となるよう努めて参ります。

① 会員の皆様の研鑽、情報収集、懇親の二一ズにお応えすること

会員の皆様から寄せられたご意見・ご要望を参考にして、各種研修会（職員の方の研修も含みます）や情報交換会、意見交換会を開催するほか、最新の情報、重要性の高い情報を、広報紙やWEBページ等を通して皆様にお伝えいたします。また、会員同士の懇親をより深めることで、上記の情報交換会等や下記のMJSへの提言等に関する議論も活発化するのではないかと考えております。

前年の総会等でもお話しましたが、我々は同業者であり「ライバル」の関係にもあります。もちろん皆さまはそのことをきちんと弁えられていて、遠慮しがちに最大限の感謝をもって情報やノウハウに接していただいていると思います。専門家として非常に尊いことであると思います。しかし、こうした関係性があればこそ、もう少し踏み込んだ具体的な情報の共有をしても良いのではなかろうかとも最近は思っています。ミロク会計会会の皆さまは、普通なら遠慮してしまいそうなちょっと踏み込んだ情報やノウハウを当たり前で共有していて、より高いレベルで切磋琢磨している。そんな関係性というのも素敵ではないでしょうか？

また、今後連合会（全国会）を巻き込んで会全体として実現したく考えていることの1つが、MJS独自のシンクタンク等が行った実務における質疑応答

事例のデータベース化です。目に見える進捗はあまりお見せできていなくて恐縮なところではあります。が、北海道会の先生のみならず植田会長をはじめ連合会に参加の先生方ともことあるごとに意見交換等をさせていただいております。こうした皆様にとって有用なサービス構築への働きかけも引き続き積極的に行ってまいります。

② MJS システムへの「愛を込めた、どぎつい」提言を行うこと

会計事務所が質の高いサービスをリーズナブルにお客様に提供するためには、業務の効率性を阻害する使い勝手の悪いシステムを使うことがあってはならないと思います。この点、かつて圧倒的な効率性をもたらしていたシステムも、昨今の新技術等を生かした機能改善、開発に関する競争の激化を背景に、相対的な利便性が劣る結果となるリスクを常にはらんでいます。業界大手のMJSシステムにおいてさえもその影響は甚大です。

また、今回の総会の中でも述べさせていただいたところではありますが、我々会計事務所がMJSシステムに抱く期待と現実とのギャップは相変わらず大きいなど、連合会システム開発委員会への出席等を通じて感じるものがまだまだ多くございました。

すなわち、会計事務所が求める「いかに安心して便利に使えるか」というニーズに対して、開発の現場では「あるか無いか」「出来るか出来ないか」までの対応に留まってしまうがちで、かつ、技術的には高度でも我々会計事務所の利便性には直結しない「作り込み」に対して優先的に多くのリソースが割かれてしまっているといった現実があるといった、作り手と使い手との間のギャップです。

こうしたギャップは、真摯な作り手であればあるほどはまってしまうがちな罠だと思っています。

そんな真摯な作り手に使い手の思いを伝え、作り手にとっての満足度より使い手にとっての利便性を優先したシステム開発が行われるよう、会計会をして「愛を込めた、どぎつい提言」をし続けていきたい、と考えております。

今後も皆さまのご参加とお力添えを賜れましたら幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

第51回 定期総会報告



総務委員長 大石 俊彦

令和8年7月24日（金）15時より、ホテル日航ノースランド帯広において、「第51回定期総会」が開催されました。会員の皆様にはご多用のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

総会に先立ち、合同委員会および役員会が開催され、13時30分からは藤丸株式会社代表取締役山中良助氏による「藤丸の再出発と、私たちが考える地域貢献のかたち」と題しての記念講演会が開催されました。

さて総会では、久保且佳副会長の開会宣言に始まり、物故会員に対しての黙禱、中村泰道会長の

熱い気持ちが込められた挨拶、ご来賓の紹介と続き、祝電も披露されました。

総会議長には、帯広地区会の本庄雅人先生が選出され、大役を担っていただきました。議案審議もスムーズに進行し、すべての議案が承認可決されました。また、事務局より次期開催地の順番候補の報告があり、報告どおり「北見地区会」に決定しました。

総会に続き18時から懇親会が開催され、和気あいあいとした雰囲気の中、会員相互の親睦を深めることができました。

本総会に至るまでの帯広地区会の先生方のご尽力に感謝するとともに、MJS札幌支社の皆様のご協力に対しあらためて御礼申し上げます。

来年の北見地区会での再会を楽しみにしつつ、総会報告とさせていただきます。



▲記念講演会講師の山中良助氏



▲記念講演会の様子



▲懇親会の様子



▲定期総会の様子



▲次期開催地の北見地区会 川江会長の挨拶



▲議長の本庄会員

定期総会帯広大会 御礼並びに退任ご挨拶



帯広地区会会長 内田 勇介

皆さま、今年7月24日、25日は道内各地、また遠方より第51回定期総会帯広大会へご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。皆さまのおかげで無事に開催を迎えられましたことを、心より御礼申し上げます。

帯広での総会準備は、帯広地区会の先生方を中心に「皆さまに十勝を満喫していただきたい」という一心で進めてまいりました。限られた準備期間中、集客や会場調整など大変な場面も多くございましたが、これもひとえに先生方・事務局の皆さまの一丸となったご支援のおかげでございます。

懇親会におきましても、皆さまに笑顔でお帰りいただくべく趣向を凝らしました。実は「よさこい演舞（エクスクラメーション）」様は野田和宏先生と私が青年会議所において、とてもお世話になった先輩が代表を務める団体であり、若手の20名以上の踊り手の方に熱量を持って演舞いただけたことが良かったです。また、ビンゴ景品も十勝の魅力をぎゅっと詰め込んだ自信作ばかりですので、お気に召したのであれば幸いです。

最後になりますが、私事ながらこの度の総会をもちまして、務めさせていただきました北海道ミロク会計人会の理事を退任いたします。皆さまから賜りました温かいご指導とご厚情に、心より深く感謝申し上げます。この度は誠にありがとうございました。



第51回定期総会に参加して



帯広地区会 佐藤 英佐久

帯広市で開催された記念講演会・定期総会・懇親会に参加させていただきました。

記念講演会では、帯広・十勝唯一のデパートであった「藤丸」の現代表取締役山中良助氏の「藤丸の再出発と、私たちが考える地域貢献のかたち」と題したお話しであり、藤丸自身の再出発のみならず帯広・十勝地域への貢献についてのスポーツマンらしい力強いお話しに共感をいたしました。

定期総会におきましては、各委員会の活発な活動報告や新たな決意が伺える令和8年度事業計画な

ど、組織の活性化に向けた取り組みには、その重要性を改めて実感しました。

また、懇親会のオープニングアトラクションでは、地元の「エクスクラメーション」による「よさこい」のパワー溢れる演舞が披露され、観ている者全てに驚きと感動を与えていただきました。

定期総会の開催にあたっては、帯広地区会が担当となり、皆様に楽しいひとときをとるの思いで企画いたしました。ご満足いただけたかは、少し不安でもありました。



地域交流会に参加して

北海道ミロク会計人会の総会翌日は、開催地区会の企画で地域交流会を行っています。

今回は、「いけだワイン城」を見学させていただき、ワイン城職員の方の解説を聞きながらワイン製造棟などを見学させていただきました。山ブドウとの掛け合わせの池田町独自開発品種から作られた「山幸」ができるまでのお話は特に興味深く、



▲写真左：浦田会員

札幌に帰ってから飲む「山幸」の味わいは格別なものとなりました。

その後「ばんえい競馬」を体験するため、競馬場へ。この日の第一レースはまさかの「北海

道ミロク会計人会杯」！！と協賛レースとしていただき、皆さん楽しく競馬を楽しまれていました。

今回の地域交流会を企画していただいた帯広地区会のみなさまのおかげでたいへん楽しい十勝の思い出ができましたこと、お礼申し上げます。



札幌地区会 浦田 敏仁

懇親ゴルフ大会に参加して

7月25日、帯広での第51回北海道ミロク会計人会定期総会の懇親ゴルフ大会に参加させて頂きました。盛夏の時期の開催で酷暑も心配されましたが、当日は多少の霧雨で気温も20度前後と快適なコンディションの中ラウンドができました。会場となりました帯広国際カントリークラブは帯広の名門とのことで難しいコースでした。ティーショットのブラインドホールが多く、また雨を含んだラフも重くボー



ルを出すのに苦労しました。当日スタート前にカート無しの完全歩きのラウンドだと分かり、本当に疲れましたがいい汗をかけました。中国会から前年に引き続き清水先生、中畝先生にご参加いただき、MJSの方々と併せて12名でのゴルフ大会となりました。優勝は中国会の中畝先生がベスグロで2年連続優勝となりました。会員の先生方、MJSの社員の方々のおかげで楽しくラウンドできました。本当にありがとうございました。

来年は北見地区会が定期総会の担当になりました。網走が会場になる予定ですので、ゴルフはオホーツカントリークラブで開催かなと思っています。

来年も引き続きたくさんの方々とのゴルフを心待ちにしております。



北見地区会 松尾 俊介



委員会報告

総務委員会報告

一年前、安請け合いをして総務委員長になりました。前任および前々任の先生方の大変さをひしひしと感じております。

さて、本年度の計画としましては、昨年度に続き「会組織増強のための施策を検討し、入会率アップを目指す」ほか6項目を策定しましたが、特に「LINE 公式アカウントや会報誌の活用」を積極的に進めてい

きたいと考えております。

活動計画にもありますが、11月に予定されている全国統一研修会中部大会は、第50回の節目の大会となりますので、多くの参加を期待しております。よろしくお願いいたします。

委員長 大石 俊彦



システム開発委員会報告

会員の皆様には日頃より、システム開発の改善要望アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございます。北海道会から寄せられた貴重なご意見・要望を基に今後もより使いやすく業務に役立つように進めていきたいと考えています。会員の方々からの要望がシステムに反映されているかどうか確認しにくい点を考慮し、北海道会から挙げられた改善要望がシステムに

反映された場合には、その改善内容や概要、具体的な操作方法等を動画にまとめ、北海道ミロク会計人会のLINEを通じて皆さんに案内していきたいと思っております。改善要望が日々の業務の生産性向上に繋がるものと考えておりますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

委員長 小林 勝彦



広報委員会報告

広報委員会の活動報告をするにあたって、生まれて初めて、流行りの「AI」とやらを使ってみました。そのままコピペするのは脳が無いので、広報委員会の活動報告らしくるようにアレンジしました。

『広報（PR）とは、ミロク会計人会が社会（ミロク会計人会のユーザー税理士やその他の税理士、クライアントなど）と良い

関係を作るための情報発信をする仕事です。主な業務は、ミロクのシステムに関する情報の配信、広報誌やホームページの作成などです。ミロクのシステムのファンを増やし、信頼を高める役割を持ちます。』

う～ん、なかなか大変ですが、がんばります。

委員長 秋元 務



情報ネットワーク委員会報告

AI-OCR等のMJSシステムの活用を通じ、記帳入力業務の効率化に向けた実践的な情報提供を行う。また、かんたんクラウドシステム（会計・給与・販売・ファイルボックス）の機能や活用方法について情報提供を行い、顧問先における自計化の推進を図る。

さらに、急速に進化する生成AIについて、会計事務所における活用事例や最新動向に目を向け、日常業務への活用の可能性を探りながら、業務効率化や生産性向上につながる情報を提供していきたい。

委員長 久保 且佳



研修委員会報告

研修委員会では、例年通り税経システム研究所講師による研修会を企画し、開催しております。今年度はすでに数回開催しており、全国でも著名な講師による研修会はいへん好評を得ておりますので、ぜひ受講いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、研修会は当日の Zoom 配信のほか、

1 週間程度の見逃し配信で受講することもできますので、当日どうしても受講できないという方も是非お申込みください。また、人数限定となりますが、ミロク情報サービス札幌支社にて会場受講も可能ですので、こちらも是非ご検討ください。

委員長 浦 田 敏 仁



経営支援委員会報告

第 51 回定期総会において経営支援委員長に就任しました相高です。会員の皆さまや顧問先への経営支援の支えとなれるよう、委員会活動に取り組んでまいります。

令和 8 年度の経営支援委員会は次の四つの柱で推進します。第一に、経営支援業務の意義・役割・提供方法を委員会内で整理し、会員へ情報提供を行います。第二に、Hirameki7 等の支援ツールについて、実務に組み込みやすく、会員が一步目を踏み出しやすい運用モデルを整備します。第三に、会報

誌、LINE 公式アカウント、研修会等を通じて委員会活動を発信し、経営支援の必要性和具体策の浸透を図ります。第四に、他委員会や MJS と連携し、生成 AI・業務自動化を生かした経営支援のあり方を研究いたします。

会員皆さまと実務を共有しながら、付加価値の高い経営支援を実現していきたいと思っております。ご協力とご助言を賜りますようお願い申し上げます。

委員長 相 高 佑 介



理事就任のご挨拶

経営支援委員会委員長就任のご挨拶

相 高 佑 介

この度、経営支援委員会委員長に選任されました相高佑介と申します。

Hirameki7 等の支援ツールの有用な活用方法を模索し、会員の皆さまの関与先支援に少しでも力になれるよう取り組んでまいります。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



帯広地区会会長就任のご挨拶

野 田 和 宏

このたび北海道ミロク会計人会帯広地区会会長を拝命いたしました野田和宏です。微力ではございますが、会員相互の研鑽と親睦を深め、地域に信頼される会づくりに努めてまいります。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



全国統一 研修会

2026.11

【名古屋】

モノづくりと“なごやめし”が 息づく中部の拠点都市

全国統一研修会開催地特集



名古屋駅周辺

全国統一研修会 開催概要

日程：令和8年11月12日(木)

会場：名古屋マリオット
アソシアホテル
(JR 名古屋駅直結)

開催地：愛知県名古屋市

名古屋はこんなところ

名古屋市は愛知県の県庁所在地で、人口230万人前後の政令指定都市。東京23区を除くと横浜市・大阪市に次ぐ全国第3位の人口を誇り、古くから「日本三大都市」の一つに数えられます。東京と大阪のちょうど中間に位置し、東海道新幹線を利用すれば東京から約100分、大阪から約50分と、アクセスの良さも魅力のひとつです。トヨタ自動車をはじめとする日本を代表するものづくり産業が集積する“産業の中心地”として知られる一方、名古屋城の金鯱きんしゃちに象徴されるように伝統的な城下町文化も色濃く残ります。また「なごやめし」と呼ばれる独自の食文化でも全国的に知られており、研修会の合間の楽しみとしてもおすすめです。

立ち寄りたい定番スポット

●名古屋城

金の鯱で知られる名古屋のシンボル。豪華な障壁画を再現した本丸御殿も見どころです。

●熱田神宮

三種の神器の一つ「草薙神剣」を祀る、東海地方随一のパワースポット。緑豊かな参道も魅力。

●リニア・鉄道館

新幹線や在来線車両を間近で見られる、鉄道ファンにも人気のスポット。

●名古屋港水族館・栄・オアシス21

大型海洋生物の展示や、ガラスの屋根が印象的な都心のランドマークです。

食べ歩きなら

●大須観音・大須商店街

下町情緒とサブカルチャーが混ざり合う個性的な商店街。食べ歩きに最適です。





“なごやめし”を 味わう

名古屋には、他の地域にはない
独自の食文化
「なごやめし」があります。

おすすめの名ごやめし

● みそかつ

八丁みそだれをかけたとんかつ。ジューシーな豚肉と甘辛い味噌の組み合わせが人気で、名古屋を代表するB級グルメの一つです（栄エリアに有名店が多数）。

● ひつまぶし

備長炭で香り高く焼き上げたうなぎを、おひつに入れて提供する名古屋名物。薬味やだし汁をかけるなど、三段階の味わいを楽しめます（熱田神宮周辺の老舗が有名）。

● 手羽先

スパイシーで香ばしい味付けが特徴の唐揚げ。名古屋発の居酒屋チェーンが全国的にも有名で、お酒との相性も抜群です。

● モーニング文化

名古屋の喫茶店では、ドリンクを注文すると無料でトーストや小倉あん等がつく“モーニングサービス”が定番。喫茶店文化を体感できます。

● きしめん・あんかけスパゲッティ

平打ち麺の「きしめん」や、名古屋発祥の洋食「あんかけスパゲッティ」も、名古屋駅周辺で手軽に楽しめます。



中部ミロク会計人会 会長からのご挨拶

北海道会の皆様、第50回全国統一研修会「中部大会」に、ご参加くださいますようお願い申し上げます。準備も進み気合を入れて仕上げをしております。
「名古屋でまっとるでねー」

中部ミロク会計人会
会長 山内 今朝男



編集 後記

どうしても気候の話題になりますが、この原稿を書いているときの「今年の夏」は、昨年ほどの酷暑ではないですね。7月の30℃超えは4日しかありませんでしたし、朝晩は気温が下がり、ビアガーデンでは肌寒さを感じるくらいでしたので。どちらが正常気象なのかわかりませんが、ある意味、北国らしい夏だったように思います。

広報委員会委員長 秋元 務

「説明できる企業」になるために——

サプライチェーン強化に向けた セキュリティ対策評価制度(SCS)勉強会 開催報告

■開催概要

日 時：令和8年6月12日（金）

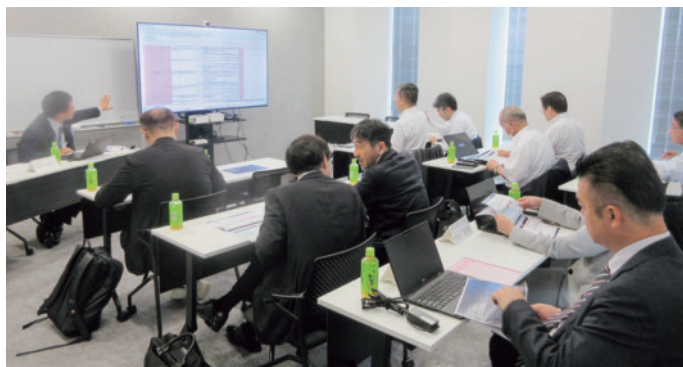
札幌地区会定期総会 開催前

講 師：株式会社ミロク情報サービス

札幌支社 CS グループ長 荒井雅史氏

参加者：札幌地区会会員 7事務所7名

テーマ：サプライチェーン強化に向けた
セキュリティ対策評価制度（SCS）



研修内容——経済産業省「SCS 評価制度」とは

経済産業省は、サプライチェーン全体のセキュリティ水準を高めることを目的に、2026年度末の施行を予定している「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（略称:SCS 評価制度）」の整備を進めています。取引先一社に生じたセキュリティ事故が、思わぬ形で自社や取引先全体に連鎖する時代において、「相手のセキュリティレベルが見えない」ことこそが最大のリスクである、という考え方のもと、国が企業間で共通して使える“ものさし”として本制度を示した経緯が説明されました。

★3～★5の段階評価と7つの評価分類

本制度は★3（最低限そろえるべき対策）から★5（到達点）までの段階で企業のセキュリティ水準を評価するもので、評価項目は「ガバナンスの整備」「取引先管理」「リスクの特定」「攻撃等の防御」「攻撃等の検知」「インシデントへの対応」「インシデントからの復旧」の7分類に整理されています。制度が重視しているのは“事故を完全に防げたか”ではなく、“事故が起きた瞬間に経営判断が止まらないか”という点であることが強調され、参加者からは自社の現状を振り返る声も聞かれました。



自社の弱点を製品・サービスで補う

研修では、各評価分類において企業が陥りやすい“弱い部分”を具体的に示しながら、それを支えるMJSの製品・サービスが紹介されました。入口対策の「FortiGate」、ネットワークの見張り役となる「LAN PATROL」、操作履歴を可視化する「PCパトロール」、確実な復旧力をつくる「MJSバックアップONE」、対応費用を備える「サイバー保険」など、対策・運用・備えを一体で整えていく重要性が説明されました。

■参加者の声

「情報セキュリティは経営課題であることを実感した」「今後も継続的にこうした情報提供をお願いしたい」「定期的に研修会を開催してほしい」といった声が多数寄せられ、会員の関心の高さがうかがえました。当会としても、今後も継続的な情報提供および研修の場を設けてまいります。

MJS札幌支社 社員紹介～2026～



支社長
内山 智晴



課長・営業第一 G 長
小又 賢也



営業第二 G 長
佐藤 潔明



営業第二 G
中村 愛子



営業第二 G
齋藤 南樹



営業第二 G
野崎 稜太



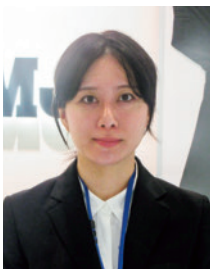
営業第三 G 長
河越 龍太郎



営業第三 G
高橋 優



営業第三 G
大谷 広樹



営業第三 G
野島 夕実



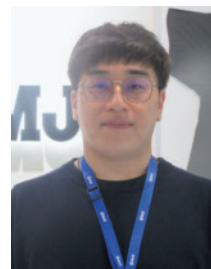
CS 第一 G 長
荒井 雅史



CS 第一 G
西谷 友輝



CS 第一 G
樋口 佳希



CS 第一 G
迎 拓実



CS 第二 G 長
久保 慎二



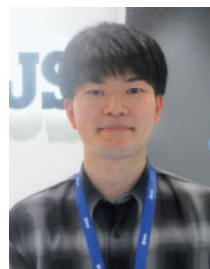
CS 第二 G
相田 麻衣



CS 第二 G
舩澤 凌



CS 第二 G
臼井 綾香



CS 第二 G
川端 柊



道東サービスセンター長
竹本 浩樹



道東サービスセンター 営業
本多 秀人



道東サービスセンター 営業
瀬尾 祐貴



道東サービスセンター CS
渡辺 祐介



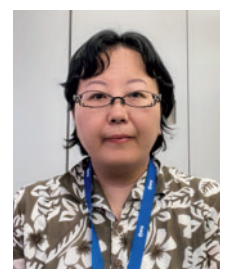
会計人会事務局
田中 みどり



会計人会事務局・事務
後藤 淑子



事務
榎本 泉



道東サービスセンター 事務
佐々木 祥乃

会計事務所の皆様へ

今のホームページ、 毎月いくら払っていますか？

実は、今のホームページをそのまま活かして、
毎月の **コストを大きく下げられる** かもしれません。



現在のホームページ運用

制作会社や外部業者に依頼している場合、
毎月さまざまな費用が発生します。



管理費



更新費



サーバー費



ドメイン費



保守・サポート費

合計すると・・・

毎月 **数千円～数万円** にも！

見直すだけで
コストダウン！

Hirameki 7なら

今のホームページをそのまま活かして、
低コストで安全に運用できます。

月額 **1,200 円**～
(税込1,320円～)



SSL対応



スマホ対応



AIで更新



お問い合わせ
フォーム

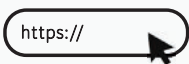


お知らせ機能

必要な機能がそろって **この価格！**

URLを入力するだけ！ ほぼそのまま再現[※] できるから安心・簡単

1 URLを入力



現在のホームページの
URLを入力

2 AIが解析



AIがデザインや構成
コンテンツを解析

3 デザイン・構成を再現[※]



元のデザインや構成を
ほぼそのまま再現[※]します

4 Hirameki 7で管理



更新や管理はHirameki 7で
直感的に簡単操作

5 低コストで運用開始



月額1,200円～で
運用スタート！

※再現できる範囲には条件があります。デザインや機能、コンテンツによっては一部調整が必要な場合があります。

Hirameki 7に乗り換えるメリット

✓ コストを大幅に削減

毎月の固定費を抑え、
事務所の利益改善に
つながります。



✓ 今のホームページを活かせる

デザインや構成をほぼそのまま
再現[※]できるので、
違和感なく移行できます。



✓ AIでかんたん更新

専門知識がなくても、
文章や画像の更新が
AIでサポートされるから
誰でも簡単に更新可能です。



✓ 安心のセキュリティ

SSL対応で安全。
セキュリティ対策も万全で、
安心して運用できます。



まずは詳しく知りたい方へ

Hirameki 7の詳細はWEBもしくは担当者へ！

<発行元>

株式会社ミロク情報サービス

DX事業戦略部 DX事業グループ

〒163-0648 東京都新宿区西新宿1-25-1

新宿センタービル 48F

TEL：03-5326-0336

<問い合わせ先>

株式会社ミロク情報サービス

札幌支社

〒060-0003

札幌市中央区北3条西4-1-4

D-LIFEPLACE札幌9階

TEL：011-231-3602

MJS Hirameki 7



今すぐ検索！



QRコードからも
アクセスできます

Hirameki 7 AIでかんたんに、信頼と成果を生むホームページへ

✓ 初期費用を抑えて導入可能

✓ 独自ドメイン対応

✓ 安心のセキュリティ

✓ AIで簡単操作

※掲載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。